

# 外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	公益財団法人 西日本産業貿易コンベンション協会 ※H29.4～（公財）北九州観光コンベンション協会
-----	--

所管課	産業経済局 MICE推進課
-----	---------------

団体に対するミッション
内外の工業製品等の展示紹介を通じて西日本地域の産業の高度化と貿易の振興に資するとともに、本市におけるコンベンションの誘致、支援等を通じて地域の活性化及び文化の向上に資することにより、本市の経済政策を支援し、にぎわいと活力あふれるまちづくりに貢献する。

行財政改革大綱における見直し内容
<p>今後、策定を予定している、観光振興の柱となる新たなプランに基づき、コンベンションをはじめとしたMICE（※）事業の強化に取り組む。</p> <p>また、より効果的・効率的な誘致・集客体制を図るため、観光関連団体等との連携や統合も視野に入れた機能強化について検討する。</p> <p>※MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議や全国規模の大会、学会等（Convention）、展示会・見本市、様々なイベント（Event/Exhibition）の頭文字をとった用語で、多くの集客・交流が見込めるものを言う。</p>

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に目指す状態	MICE開催拠点である小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンを一体的に運用し、積極的にMICEを推進することにより、産業振興・国際化の推進・にぎわいづくりに貢献する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
3施設の来場者数	102万人	76万人	91万人	82万人	82万人	82万人	30年度水準を維持

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）			
団体における評価	平成27年度実績に基づく市からの助言指導等を受け、国際規模をはじめとする学会・大会の誘致に積極的に取り組んだ。北九州市グローバルMICE協議会を発足し、地元のパックアップ体制を強化する取り組みも行った。北九州国際会議場の利用件数は目標を下回ったものの、昨年度実績は上回った。主催事業においても国、県、市、大学、関係団体、研究機関と連携し、効果的な事業促進に努めた。こうした取り組みを継続することで、にぎわいや活力あるまちづくりに貢献した。	市の評価	平成28年4月の熊本地震の影響により、会議等の開催の中止や日程変更等があったものの、営業・誘致活動により初開催のイベント等が増加するなど、地域の活性化やにぎわいづくりに貢献したことは評価できる。
	今後の課題及び見直し内容（案）		協会主催事業は、北九州市の新成長戦略や国、県の産業政策の動向を踏まえ、既存事業の充実とともに効率的な実施を検討する。学会、大会等の誘致に向け、キーパーソンへの積極的な営業に取り組む。施設利用者に対しては継続利用を促しながら、過去利用者への働きかけを継続する。以上の取り組みにより、貸館利用件数、稼働率、来場者数の増加を図り、北九州市のにぎわい、活力あるまちづくりに貢献する。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
北九州市のMICEおよび観光振興をより一層推進するため、平成29年4月の北九州市観光協会と統合に向け、団体の機能強化、事務事業の整理・見直しを行った。	